



モッピーだより

特定非営利活動法人 ふれ愛びっく大阪クラブ

理事長 川口 衷

〒582-0009 柏原市大正 1-4-24

<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/fureai/>

「2008 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」開催

リーグ加盟チーム募集!!

ふれ愛びっく大阪クラブは、グランドソフトボールの普及・発展のため、競技の運営を中心にこれまで活動し、今年で11年目を迎えることになりました。

これも会員の皆様をはじめとする関係各位の方々のお陰と心より感謝申し上げます。この大きな節目の年を迎え、更なるグランドソフトボール競技全体の飛躍のためにも、新しく「2008 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」を開始することになりました。

現在、グランドソフトボール競技には、「全国障害者スポーツ大会」「全日本グランドソフトボール選手権大会」という二つのビッグタイトルがありますが、出場選手に一定の制約があり、視覚障害者団体に属さない選手および晴眼選手は出場できないこととなっています。



このことは、両大会の趣旨を考えれば、やむをえないことではありますが、グランドソフトボール競技の普及・発展ということを考えれば、残念な思いがあります。

現在、全国各地では様々な大会が企画・開催されておりますが、その試合数においては、まだまだチームの要望を充たすことも難しく、予選会で敗退したチームは練習目標が無くなり、チームの運営に大きな支障となっております。

このような状況を踏まえ、参加者の制約を可能な限り取り除き、障害者・健常者が理解・協力し、共にグランドソフトボール競技を楽しめるような大会にしたいと考えております。

詳しい内容は、ふれ愛びっく大阪クラブホームページをご覧ください。また、事務局にお問い合わせください。多数のチームの参加をお待ちしております。

第8回全日本グランドソフトボール選手権大会開催

徳島、三重を破り初の全国制覇!!

平成19年9月15日(土)～17日(祝)、大阪府立久宝寺緑地「陸上競技場」他で、「第8回全日本グランドソフトボール選手権大会」が残暑厳しい猛暑の中、「夢への挑戦 心はひとつ!」を大会スローガンとして盛大に開催された。



決勝戦は、徳島県対三重県の対戦となり、三重県は、長年のライバル打倒徳島を目指したが、徳島が試合巧者ぶりを発揮、試合を有利に進めた。3回表先頭打者兵後の本塁打で同点としたが、3回裏徳島は、3本のヒットで2点を入れた。

最終回の4回裏、2点差を逆転すべく中心打者が藤本投手に挑み、4本のヒットで1点差とし、二死二・三塁と詰め寄り、多くの観戦者は藤本投手と加藤選手(主将)の勝負を期待したが勝負してもらえず、加藤選手を敬遠、次打者全盲選手は三振、観客を酔わせた好ゲームも結果的には徳島が優勝、三重は準優勝に甘んじた。

16・17日は、残暑厳しい蒸し暑い熱中症が心配される一日となったが、グランドソフトボールにかける選手の思いは強く、大会を運営する競技役員と一体となって予定とおり進行、事故もなく無事終了した。

表彰式では、初の全日本グランドソフトボール選手権大会全国制覇をした徳島県チームに優勝旗・優勝杯が、惜しくも徳島に敗れ準優勝の三重県チームに準優勝盾を、また、準決勝戦で敗れた大阪府・高知県チームに第三位の盾がそれぞれ贈られた。

最優秀選手賞 藤本博文投手(全盲 徳島県)・林 政夫(弱視 徳島県)

優秀選手賞 片山日出夫投手(全盲 三重県)・溝上信利(弱視 三重県)

全国からこの大会に、審判員9名(群馬県1名・埼玉県4名・神奈川県1名・愛知県2名・三重県1名)、記録員2名(愛知県2名)が遠路はるばる参加いただき、ふれ愛びっく大阪クラブ審判員と協力し、大会運営に努められた。



ボランティアとして暑い中大会を支えていただいた、社会人ボランティア社団法人大阪市視覚障害者福祉協会「点字友の会」、財団法人大阪府視覚障害福祉協会「モッピークラブ」の皆さん、また、中学生ボランティアとして、東大阪市の「花園中学校」・「縄手北中学校」「孔舎衛中学校」の女子ソフトボール部の皆さん、本当にご苦労様でした。この体験を大きな糧としてますます頑張ってください。



第 27 回中日本グランドソフトボール大阪大会開催

大阪府、愛知を破り優勝!!

平成 19 年 9 月 24 日、大阪府立久宝寺緑地「陸上競技場」において、「第 27 回中日本グランドソフトボール大阪大会」が全国各地から 12 チーム（東京フェニックス・東京閩人・愛知県・三重県・石川県・滋賀県・京都府・奈良県・大阪府・大阪市・ワイルド・ジョークス・山口県）が参加して開催された。

3 チームによる予選リーグ戦、成績上位による決勝トーナメント戦、予選リーグ戦敗退チームによるオープン戦など 4 面 17 試合の熱戦が展開された。決勝トーナメント戦には、大阪府・東京閩人・京都府・愛知県がそれぞれ進み、準決勝戦は 大阪府 対 東京閩人、京都府 対 愛知県の対戦となり、大阪府・愛知県が決勝戦にコマを進めた。

決勝戦は、大阪府が一回表愛知から 6 点をもぎ取り先制、愛知県は一回裏大阪府濱川投手を攻めるも 2 点に終わり、時間切れ終了となり、大阪府が優勝の栄冠を勝ち取った。



この大会のボランティアとして、八尾市立龍華中学校・成法中学校・大正中学校、柏原市立柏原中学校ソフトボール部の選手 50 名が参加大会運営に協力していただいた。

ボランティアに先立ち、全日本グランドソフトボール連盟大橋 博会長・中日本グランドソフトボール連盟辰巳壽啓会長から、グランドソフトボールについて、また、視覚障害者への対応の仕方等をレクチャー、きょうの経験を生かし、これからの社会生活に役立てていただくことを期待する。どうもありがとうございました。

決勝トーナメント戦

優 勝 大 阪 府 準優勝 愛 知 県 第 3 位 東京閩人 京 都 府

予選リーグ戦

A 面 石川県 3 対 2 大阪府、三重県 5 対 3 石川県、大阪府 12 対 1 三重県

B 面 山口県 1 対 9 滋賀県、東京閩人 7 対 3 山口県、東京閩人 6 対 6 滋賀県

C 面 京都府 8 対 0 大阪市、東京フェニックス 0 対 7 大阪市、

東京フェニックス 1 対 3 京都府

D 面 ワイルド・ジョークス 13 対 6 奈良県、ワイルド・ジョークス 2 対 3 愛知県、

愛知県 3 対 0 奈良県

第22回全国盲学校野球大会開催

北信越選抜筑波を破り優勝!!



表彰式 優勝 北信越選抜

平成19年8月22日(水)～24日(金)、山梨県甲府市「甲府市立北中学校」ほかで「第22回全国盲学校野球大会」が、全国から9チームが参加して盛大に開催された。

この大会は、主管全国盲学校体育連盟、主管関東地区盲学校体育連盟、主管校山梨県立盲学校として開催、宮城県立盲学校(東北)・秋田県立盲学校(東北)・筑波大学附属視覚特別支援学校(関東)・北信越選抜(北信越)・愛知県立名古屋盲学校(東海)・和歌山県立盲学校(近畿)・香川県立盲学校(中四国)・九州選抜(九州)・山梨県立盲学校(主管特別枠)の9チームが参加、予選リーグ9試合、決勝トーナメント戦4試合、交流試合2試合の熱戦を展開した。

23日は、早朝の嵐のような豪雨により、グラウンドコンディションが悪く、開会式をホテル「湯伝」で開催、試合開始時間を遅らせ、関係者の努力で12時から予選リーグ戦3面3試合が行われた。

Aコートは、山梨県対秋田県、秋田県対名古屋、名古屋対山梨が行われ、山梨が2勝し決勝リーグ戦進出を決めた。Bコートは、北信越対九州、九州対香川、香川対北信越が行われ、三チーム1勝1敗となり、抽選で北信越・九州選抜が決勝リーグ戦進出を決めた。Cコートは、和歌山対宮城、宮城対筑波、筑波対和歌山が行われ、三チーム1勝1敗となり、抽選で筑波が決勝リーグ戦進出を決めた。



近畿代表 和歌山盲学校

24日は、決勝トーナメント戦4試合が行われ、準決勝戦筑波対九州選抜、北信越対山梨が行われ、筑波・北信越がそれぞれ勝利し、決勝戦進出を決めた。

決勝戦は、筑波が1点を先制、北信越が逆転4対1としたが、最終回裏筑波が粘り2点を挙げ北信越を攻めたが、残念ながら逆転ならず勝利の女神は北信越に輝いた。おめでとう北信越選抜!!

なお、全日本グランドソフトボール連盟から派遣要請を受け、宮城県3名、群馬県2名、埼玉県3名、愛知県1名、ふれ愛びっく大阪クラブから10名の審判員が参加、大会関係者と協力し大会運営に努めた。

全国盲学校大会で活躍したこれら選手が卒業してからも社会人として何時までもグランドソフトボール競技に係わっていただけることを期待する。

2008 NPO ふれ愛びっく大阪クラブ 会員募集

正会員 年会費 5,000 円 (入会金 1,000 円)

賛助会員 年会費 2,000 円

振込み口座番号 00960-4-149195

NPO ふれ愛びっく大阪クラブ まで、宜しくお願いします。